

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|--|---------------------------|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>1. 視覚障害者の安全な外出・移動を保障することで人権を守る</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>国は、2000年に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（交通バリアフリー法）」を、2006年には、利用者や整備の対象範囲を更に拡大し「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」を施行し、高齢者・障害者を問わず誰もが安全で安心して社会、経済活動に参加できる社会づくりを進めてきました。</p> <p>瀬戸市は、2009年に新瀬戸・瀬戸市駅周辺を重点整備地区と設定したバリアフリー基本構想を策定し、</p> | <p>(1) バリアフリー基本構想について</p> | <p>① 瀬戸市では、高齢化が急速に進行することを予測して、2009年（平成21年）6月「新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺バリアフリー基本構想」を策定しました。その内容は、障害者やこれから更に増加していく高齢者等の、社会参加の機会を確保し、誰もが快適に暮らせる生活環境の整備が急務であるとの認識で策定されていました。移動の自由と安全確保は社会参加の絶対条件であり、バリアフリー化の推進は基本的権利を守ることでありとありますが、瀬戸市の見解を伺います。</p> <p>② 基本構想の策定から12年経過しますが、2009年の策定時に瀬戸市では20%だった高齢化率は、今年4月1日現在で29.8%になっています。策定時には「2030年には30%まで上昇する」と予測していましたが、予測を大きく上回るスピードで高齢化が進行しています。また障害者手帳の所持数では、視覚障害者も含む身体障害者の人口に対する割合は横ばい、療育手帳と精神障害者保険福祉手帳の所持数は、年々増加しています。</p> <p>高齢化の急速な進行や障害者の社会参加の機会が増えてきていることは、瀬戸市に限ったことではなく、国は昨年バリアフリー化をより促進するために、バリアフリー新法の一部改正を行いました。このような現状を踏まえ、基本構想で設定した区域に限らず市内のバリアフリー化の更なる促進が必要と考えますが、今後の方針と計画を伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|---|-----------------------------------|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| <p>バリアフリー事業を進めてきました。</p> <p>バリアフリー事業は、当事者の願いに寄り添った整備が必要であると考え、市内のバリアフリーの整備がどのように進められてきたのか、また現状と今後の方針や計画について質問します。</p> <p>尚、今回の質問では、視覚障害者に限って質問しますが、同時に他の障害者や高齢者、また妊婦や怪我をしている方々なども含めて、移動の自由と安全確保をすることで人権を守る必要があると考えています。</p> | <p>(2) バリアフリー基本構想の実施すべき事業について</p> | <p>① 基本構想において実施すべきハード事業は「道路関連」「公共交通関連」「交通安全関連」の3つに分類し策定されていますが、それぞれの目的と内容を伺います。</p> <p>② 「道路関連」では、18 の路線の整備を道路特定事業としており、「完了」しているのは11 路線、「整備中や整備予定」の路線が4 路線、「未定・非対応」は3 路線となっていると聞いています。未定・非対応の路線について今後の計画と目処について伺います。</p> <p>③ 「道路関連」には、新瀬戸・瀬戸市駅周辺の「駅前広場」も道路特定事業として位置づけられています。基本構想策定時に「老朽化した視覚障害者誘導ブロックとインターロッキングブロック舗装の境界が分かりにくい」という当事者からの指摘がされていますが、今後の整備計画を伺います。</p> <p>④ 「公共交通関連」では、「駅構内の改札口、ホームなどの移動経路について、利用者が安全で円滑に移動できるためのバリアフリー施設整備を実施します」とあります。また、基本構想策定時に「愛知環状鉄道瀬戸市駅への入り口のドアは自動ドアが望ましい」という当事者からの指摘がされています。基本構想は、鉄道会社も共同で策定していますが、鉄道会社にバリアフリー事業を確実に推進してもらうために瀬戸市はどのような働きかけを行うか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|--------------|-------------------------------|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (3) 基本構想で計画されていないバリアフリー事業について | <p>⑤ 「交通安全関連」では、「バリアフリー対応信号機（音響及び音声機能付き信号機など）の整備や、横断歩道の横断方向を示すエスコートゾーンの整備」とあり、方針通り陶生病院の北西角にある東松山交差点内にはエスコートゾーンが設置されています。ところが、視覚障害者の方との点検で「すり減ってしまっており分かりにくくなっている」と指摘を受けていますが、市の管轄外となる東松山交差点の横断歩道の整備は、市としてどのように関係機関に働きかけていくか伺います。</p> <p>⑥ 「交通安全関連」のバリアフリー対応信号機の整備は、道路横断中の視覚障害者が車と接触し死傷する事故が後を絶たないことから急務であると考えます。視覚障害者が交差点や横断歩道を点字ブロックで認識しても、横断したい方向の信号が「赤」なのか「青」なのかは、音響式信号機がなければ判断できません。視覚障害者の方の要望に応じて、設置を関係機関に働きかけていく必要があると考えますが、瀬戸市の見解を伺います。</p> <p>① 過去に瀬戸市に届いた歩行スペースの確保や段差解消・スロープの設置などのバリアフリー関連の要望と、その対応状況について伺いました。過去6年間の要望は、平成27年は0件、平成28年は5件、平成29年は1件、平成30年は1件、令和元年は5件、令和2年は0件でした。一部実現している要望もありますが、まだ実現していない要望についてはどのように判断し処理されていくか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|--------------|------------------------------------|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (4) 市役所の最寄り駅「瀬戸市役所前」の安全と市役所への経路の整備 | <p>② 基本構想の重点整備地区に限らず様々なバリアフリー化の要望は、瀬戸市に届いていなくても、現在もあると思います。それらの要望が事業化されてバリアフリーが実現するには、具体的にどのような流れで進んでいくか伺います。</p> <p>③ バリアフリー事業を当事者の要望に応じて実施するときに、国の補助制度など財政的な支援はあるか、あるのであれば具体的に伺います。</p> <p>① 市役所の最寄り駅である「瀬戸市役所前駅」から市役所まで視覚障害者の方を案内したところ、点字ブロックの設置が無い区間があり、また点字ブロックがあっても連続性がないため、点字ブロックを頼りに移動する視覚障害者は、市役所にたどり着けないことが分かりました。現状をどのように認識し今後の対応をどう考えるか伺います。</p> <p>② 「瀬戸市役所前駅」での安全な乗降は、市役所に来られる方々の安全の確保でもあります。駅の構造上カーブしたホームは奥行きが狭く傾いており、車輦とホームの間隔と段差が大きく大変危険です。視覚障害者の方がホームから転落して死亡する事故は後を絶たず、国土交通省の資料では、過去10年分のホームからの転落に関する状況が公表されており、令和元年は年間で2,887人の方がホームから転落しており、その中の61人が視覚障害者です。人口に対する視覚障害者の手帳所持者の割合から計算すると、健常者の8倍もホームから転落している計算になります。名鉄「瀬戸市役所前駅」での転落や人身事故についての状況は把握しているか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 6 番 | 新井 亜由美 議員 | |
|--------------|------------------------|--|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目) |
| | (5) 今後のバリアフリー事業の推進について | <p>③ 国土交通省の資料では、平成22年から平成26年までは転落件数が増加し続けていますが、平成26年をピークに減少傾向です。この減少の理由は、視覚障害者の方々が長年要求し続けてきた鉄道のホーム可動柵の設置が普及してきたためと考えられます。このホーム可動柵の設置で視覚障害者だけでなく、他の障害者や子どもからお年寄りまで全ての方の命が守られます。瀬戸市から名鉄へ「瀬戸市役所前駅」にホーム可動柵の設置を働きかける必要があると考えますが、見解と今後の対応をどう考えるか伺います。</p> <p>① 基本構想の策定から12年が経過し、施設や病院などの建て替え、社会情勢や交通事情に伴い、既に完了した事業についても点検や修繕が必要な箇所もあります。法律では整備が義務づけられているのは新設の施設であり、既存の施設は努力義務となっていますが、既存の施設こそ整備が必要な箇所が残っています。</p> <p>今回、視覚障害者の方からの相談を受け、市の職員と共に重点整備地域を歩いて点検したような取り組みや、具体的な事業の検討・検証などは繰り返し行っていく必要があると考えます。今後、市としてどのような取り組みで一層のバリアフリー事業を推進していくか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。